

## ＜ツチノコ班＞

タイトル：17NSJ

ツチノコ班 班長 北九州第5団BS 長濱 麟太郎

最初の集会から3ヵ月がたった。班員の会話がすすみ、団結力が高まりどんどん全体的によくなっていったときのジャンボリーだったので、少し心配なこともあったけど、がんばれると思っていた。

ひざしはつよくて、くそあつかったので、きつくて、休んだり、たおれたりスカウトがいたりしたのでジャンボリーはたのしかつたし、つかれました。

でも班長、次長の連携がきちんとできていたので、班員をまとめていたので、最優秀班にもなれたのだと思う。

6泊7日のジャンボリーも、思えばすぐ終わったと思う。

モジュールや、場外プログラム、開会式、閉会式、大集会、設営、てつ営、炊事、衛生、当番班、様々なプログラムや、係の仕事をこなしていくと気づけば、もうキャンプはおわりで、もうバスの中。たいへんだった数々の仕事や指示などをこなしていくことで自分たちのスキルアップが気づけばできている。

1日目は、16:30に全員集合して、バスにのって、ワイワイさわいでいました。1日目のバスの中はクーラーがきいていて、涼しかったので、2日目の11:00ごろに外にでたときは、くそあつくて死にそうでした、あつすぎで、2日目、3日目は、たおれる人が続出しました。とくに3日目の開会式では、班長2人が倒れて自分1人が班長で他、他自重が指示していたので、3日目は、一番つらかったと思います。四日目は、初めての場外プログラムだったです。海上自衛隊の見学だったけど、波・風がつよくて、体験はできませんでした。みんな楽しそうにしていたのに、できなくて残念そうでした。でも行き、帰りのバスでは、みんな楽しそうでよかったです。今度するときは、体験までして、帰りたいです。

ジャンボリーでは、つらいことや、たいへんなこともたくさんあったけど、楽しかったです！

タイトル：初めてのジャンボリー

ツチノコ班 次長 北九州第55団BS 豊田 萌

私は今回初めてジャンボリーに参加して、行く時までは、一週間も石川県でキャンプをすとか、いややなとか思ったけど、行ってみると何か楽しみだなと思えるようになってきました。

通りすぎる人たちみんなが笑顔でハイタッチなどしたりすごい人はもう、フリーハグと書いて歩いている人もいました。

私もあやねちゃんと少しだけ、ダンボールに書いてあるいたりしました。

まず、ジャンボリーの開会式では、自分の団の田中あんなちゃんたちが前に来て、曲のしょうかいなどをしていて、やっぱり田中あんなちゃんたちはすごいと思いました。

ジャンボリーの大集会では宇宙飛行士の野口さんが来たり、こうたいし様が来たりして、みんなテンションが上がっていたけど私は、吉田山田が来て「宝物」とか「日々」とかの曲の時にあやねちゃんと、まいちゃんと3人で感動して号泣してしまいました。すると前の人に、「そんなに好きなんですか？」って言われました。閉会式では、地元のアイドルなどが来て男の子たちがみんな盛り上がっていてすごかったです。最後、花火が上がって、平成最後にこんなにたのしいジャンボリーに来て一生思い出に残ると思います。

タイトル：17NSJ

ツチノコ班 北九州第54団 BS 恒成 瑠海

はじめは、友達と仲良くできるかとか、ちゃんと活動できるかとか、心配だったけど今はみんなとたくさん話したり活動したりすることができたのでよかったと思いました。

約7日間テントですごして、テントのたてかたやロープの結び方、火のおこし方など、色々なことを知ることができました。いままで知ったことは、自分の団の人に分からないことがあったら、教えることができたらいいと思いました。そしていままで時間がかかっていたところすばやく時間にまにあうようにしたいと思いました。友達や仲間といっしょに協力してゲームをすることができたからよかったと思いました。日本一ゲームはみんなで作戦を考えて、班旗を立てることができました。立てることはできたけど、高さで勝つことができなかった。からくやしいです。他の人はすごく高く立てていてすごいと思いました。ほかにもゲームをして、みんなと協力することができて前よりも仲がよくなったと思いました。班の人だけでなく、まわりの人とも、仲良くなれたからよかったです。開会式や閉会式などでたくさん楽しいことをして、もりあがることができたからよかったです。

タイトル：ジャンボリーを終えて

ツチノコ班 北九州第37団 BS 中村 遥介

ぼくはこのジャンボリーを終えてチームワークや気遣いなどの大切さをよく感じました。今まではときどき37団の班員のみんなをほっといて一人で作業をしようとしてたけど班の1人1人が協力してやれば1人じゃ何分もかかるものもすぐ終わらせて他の作業も早くできるんじゃないかと思いました。ぼくがもしまた1人でつっぱしろうとしたときはこのジャンボリーのことを思い出して協力してやっていきたいと思います。また気遣いでは班の一人が何かをやっていて終わらなさそうなきには自分が手伝うよとか言って手伝っていきたいです。周りのことをよくみて仲間との連携も大切に37団のキャンプなどもしっかりと活動していきたいです。ぼくも一人じゃできないことがあっても自分が誰か手伝ってなどを言わなければいけないなと思いました。他にも今回、あまり自分から動かなかったので団キャンプなどのときには自分から動き班のみんなにも指示をして班全体をまとめていきたいです。動かなければいけないときは動き、遊ぶときは遊ぶ、ということをテキパキと変えていきたいです。またジャンボリーでは気をぬいてしまうときがあったので、そこもしっかりとしていきたいです。ジャンボリーの仲で班のみんながピリピリしている時があって、注意のときにちょっと言いすぎたかなと思う瞬間があったので今後は気をつけてあまり言い過ぎないようにやさしく注意すればいいかなと思いました。テントサイトを片付けるときにゴミなどがいっぱい落ちていたのでテントの中でねるときとかなどに気をつけて荷物の片付けなどをしていきたいと思います。ジャンボリーは他の人々からの支えをいっぱい受けてやっとやることが出来るものなのでジャンボリーを支えていった人たちにできるかぎりの感謝をしていきたいです。ぼくは今回、初めてのジャンボリーでときどきしてたけど班のみんなや家族のみんなのおかげで普段通りキャンプができました。このジャンボリーには、ぼくが行けるように支えてくれたみんなに深く感謝をしていきたいと思いました。

目標：班のみんなとチームワークなどを大切にしていこう。

スカウト技能を上げて日本一に再チャレンジをしたい。

タイトル：17NSJのまとめ

ツチノコ班 北九州第51団 BS 長木 明日夢

ぼくはNSJに初めて行ってドキドキしていたけれど家族や班のみんなのおかげで無事活動できました。

1日目は石川県にきた感じがなくて人と人との交流を深めていきたいと思いました。設営はぐだぐだでバスの中ではぜんぜんねむれなかったし耳もとで歌ってくる人がいたのでうるさかったです。

2日目は開会式は楽しかったです。ライブみたいな感じでした。遥介がテントでおならをふってテント内がくさかったのです。しかもぐっすりねたのに朝つかれがどんとききました。

3日目はようすけ記録を書き始めました、今日のようすけ記録はようすけの顔の筋肉が2倍である。でしたがこのときは続ける気がなかったです。また班長の頭のねじがどっかはずれていてみんなが心配していると日記に書いたのですが心配してないです。それからようすけは最近カメラ目線が多くなっていました。海軍の説明をきくだけで船に乗れなかったので残念でしかなかったです。

4日目の今日のようすけ記録は鼻毛がでてるのが長いほど調子が出ないでした。これはNSJに行く前に言ってました。体調がわるくてずっとねていました。とてもきつかったです。大集会では楽しいことや残念だったことがたくさんありました。途中でトイレに行ってもどれなくてぜんぜん見えませんでした。でも帰る時に野口聡一さんにまじかであえてうれしかったです。原田君がハイタッチしたと言っていました。

5日目のようすけ記録は班長の頭のねじがはずれるほどようすけが下ネタを言いまくる。でしたが、班長の頭のねじはバスの中からはずれまくっていたし、ようすけは班長の目をぬすんで下ネタを言ってました、そして班長が女子に、二回も抱きついて、にやけていたのでみんなあきれて、ひいてました。

6日目のようすけ記録はようすけは秘密のノートをもっているらしいでしたがそのノートの名前はラブノートで色々な絵が書いてあります。みてみてちょっとひきました。絵を書くのは上手なのにセンスがだめでした。班旗立ては楽しくできたと思います。みんな楽しかったと言ってました。閉会式もライブみたいな感じで大集会は途中からみれなかったこっちは最後まで見れてよかったです。

7日目のようすけ記録は何か借りるとぜったいに返えずです。これはぼくがお金を貸した時にちゃんと返してくれたからです。あと下心の意味をおしえてもらったり、リコ達とのわかれはつらかったです。けど楽しかったです。4年後のNSJでもようすけといっしょに参加して記録していきたいです。

目標：コミュニケーション力をたかめる。

タイトル：17NSJを終えて

ツチノコ班 北九州第54団 BS 松本 凧紗

8月5日に開会式がありました。開会式では人生初めてのライブをみました。大会のイメージソングを作った”UNBRANFORD”（アンブランホード）さんのライブです。とても楽しかったです。大集会も閉会式もライブがあって、とても楽しかったです。設営やてつ営は、いつもより早く出来たと思いました。モジュールプログラムは、班の仲間と協力してクリアすることが出来ました。

野外活動では、海上自衛艦を見ました。機雷を見つけたり、撤去するための道具がたくさんありました。特に、20mm機関砲を見た時にとってもおどろきました。実際に機雷を撤去する場面を見てみたいと思いました。また、国指定、重要文化財、上時国家を見に行きました。最大級の木造民家であってとてもすごかったです。上部のはりにかごが三つをかかっていた。かかっていたはりがとても強いんだなと思った。

平家家紋の「丸にあげは蝶」がきれいだった。

大納言の間にほってあったものはうらおもてで見え方が違って、昔には満足に道具もないのにすごいなと思った、屋敷の外見からも、昔の暮らしが感じられた。大納言の間は、大納言の格式の高さを感じられました。

ジャンボリーは、今までのキャンプの中で一番つらかったけど、一番楽しかったキャンプでした。このキャンプで経験したことや成長したこと、仲間と頑張ったことを忘れずにこれからも頑張りたいと思います。ジャンボリーに参加して良かったなと思いました。

目標：17NSJでできるようになったことや成長したことを、これからスカウト人生に活かしていこうと思った。

ツチノコ班 北九州第55団 BS 河野 伊吹

今回の17NSJがぼくにとって初めてだったのでとても心配していました。でも開会式が楽しくて、心配もふきとんでとても楽しくすごせました。

1日目はサイトに着き、設営をしました。ぼくはいつも父から「この大荷物をもって山登らんといけんのよ。だいじょうぶ？」と言われていたので不安でしたが、とてもいい場所で、そこまで歩かなくてよかったので安心しました。

2日目は、設営のやり直しと夜に開会式をしました。そこでステージに田中ローバースカウトが出てきました。隊長に「どこにいるかわかったほうがいい」とペンライトをわたされました。その効果もあって気づいてくれたようなので良かったです。ぼくは人前に出て話をするのはにがてな方なのでとてもすごいと思いました。

3日目はバスにのって海上自衛隊の船にのる体験をしました。でも風のせいでのれませんでした。外（陸）からいろいろ説明してもらいました。それだけでも楽しかったのに防衛副大臣からシールを手渡されました。とてもうれしいです。

4日目は教宗派をこえた集いや大集会がありました。宇宙飛行士の野口さんや皇太子様もこられてとても盛り上がりました。教宗派をこえた集いでは、なんとなく聞いていたお経の意味を知っておどろきました。

5日目は、アースとヴィーナスのモジュールプログラムをしました。午前中にやったフィールドカーリングは楽しかったけど逆転されてしまいました。午後は日本一ゲームの班旗立てをしました。すぐとなりで8mを立てたのですごかったです。

6日目の閉会式で心に残っているのは18NSJの発表とりんかちゃんコールです。どちらも、ものすごく盛り上がりました。

目標：18NSJにむけて体力を付ける。

タイトル：一生の思い出 17NSJ

ツチノコ班 北九州第14団 BS 末吉 晃煌

17NSJの会場（石川）に行く時に少しきんちょうしていたけどバスの中の会話などがとても楽しかったです。会場につくと、いろいろな隊の人たちがいてすごかったです。設営が始まると、A型テントを建てました。向きがちがってやり直しをしたりしたけど、安全に活動に取り組みよかったです。

8月5日は開会式がありました。開会式では文部科学省の方が来てくれました。この日に初めての隊こうかんもしました。大分の隊とご飯を食べました。

8月6日はよくねむっていたけど班員全員で協力して起きれました。ツチノコ班は日中のプログラムで昔の家の見学や、海上自衛隊の船に乗る体験をしました。雨で波が強かったので乗れなかったけど、説明を受けました。今回、見せてもらったのは機雷を掃除する船でした。くわしく細かい所まで知れてよかったです。そして、防衛副大臣の方も来てくれて海上自衛隊シールをもらいました。

8月7日は宗教派を超えた集いがありました。アリーナで話を聞いている時に少しきつくなりました。その時に班長がやさしく接してくれてよかったです。昼ご飯を食べ終わると、アリーナの前で友情ゲームをしました。じゃんけん列車をしていると、カブの隊長の孫に会いました。そこでTシャツを交換しました。夜はアリーナで大集会がありました。大集会では野口聡一さんや皇太子様が話をしてくれました。そして野口さんは、また来年3度目の宇宙へ行くのを聞いて「2度も成功して無事に帰ってこれていて何度も挑戦してすごいな」と思いました。皇太子様からはスカウトをやっている事はいい事だと教えてくれてボーイスカウトをやっている良かったなと思えました。

8月8日は、朝フィールドカーリングをしました。相手は愛媛のスカウトで楽しく出来ました。結果は1点差の3-4で負けたけど楽しかったです。そしてコーラを買いに行くと、英語で話しかけてきてびっくりしたけど「日本の富士山が書いている扇子を見ましたか」と聞かれているのが分かりました。

8月9日、班旗立てゲームをしました。まずは自立させることが目標だったけど自立させれました。

8月10日、サイトへ弥栄をしました。そしてジャンボリー会場を出発しました。  
ジャンボリー最高!!

目標：今回のジャンボリーはとても楽しくてまた行きたいと思えました。  
だから次の18NSJ（東京）に高校1年生として参加したいです。

## <ハヤブサ班>

タイトル：17NSJ

ハヤブサ班 班長 北九州第3団 BS 堂免 瞳香

わたしは初めての班長でした。最初は全然うまくいなくて自分でうごいたほうがはやいと思って自分がうごいてしまって、ほかの班員に指示だすのがおそくなってうまくいかなかったけど、3日目から次長と3番スカウトが声をだすようになって班員みんなに指示がまわるようになってうまくいったのでうれしかったです。

初対面したときに知っている人がほとんどいなくてうまくいけるか不安でした。わたしは原隊で班長をしたことがなかったからちゃんとみんなをまとめられるか、的確に指示がだせるか不安だらけでした。1回目の訓練キャンプのときは全然声がだせなくて、時間におくれて、ベンチャーに助けてもらってばかりだったけど2回目の訓練キャンプのときは1回目の訓練キャンプよりみんなの距離が近くなって会話が増えて時間に間に合ったのがとてもうれしかったです。3回目の訓練キャンプではブルーシートでテントを作るときに水分補給の声かけを班員同士でしていたのがよかったなと思いました。自分がちゃんと指示がだせなくて泣いてしまったけどそのあとから班員がとっても協力的になったのでとっても指示がだしやすくなったのでうまく班がまわってよかったです。

ベンチャーがいろいろとアドバイスをくれたりフォローしてくれて班員を一人一人見ることができてその子の特徴が知れて苦手なことや得意なこととかがわかって指示だしやすくなったのがとてもうれしかったです。

1回目の訓練キャンプのときはロープワークがほとんどわかってなかったけど班集会で教えて、家でも練習してきてと言ったら、してきてくれて日本一ゲームの班旗たてのときすぐにむすべていたのがうれしかったです。

無理をして体調をくずしてしまって次の日の午前中活動に参加できなくてくやしい思いをしたので次からは無理をしないようにしようと思いました。ジャンボリー中もベンチャーにたすけてもらってとっても心がるようになったので自分も4年後ベンチャーで参加するときはそういう行動ができるようにがんばりたいです。

17NSJで学んだことが原隊にもどっていかせるようにこれからも頑張っていきます。

目標：声を大きくてきばきうごく。

タイトル：初めての17NSJを終えて

ハヤブサ班 次長 北九州第14団 BS 末吉凌大

最初の集会から3ヶ月近くがあっという間にすぎ、本番がきていました。1週間もキャンプは長いなと思っていただけに参加すると、気づいたら閉会式がきてました。色々なプログラムがあっという間の集会では体験できないがたくさんありました。たとえば丸太のぼりレースは自分たちの班は2組しかいなかったけど、みんなで協力して2組の中の1位になれました。またいつもは海に行かないけどマーキュリーでまつぼっくりを使ったストラックアウトやはたとりゲームなどができました。久しぶりに海にいけてよかったと思いました。開会式は連盟旗や国旗の入場が田中副長のステージがありました。能登のチカラ未来へはとても楽しくて盛り上がれました。歌手さんのステージや「ちかい」と「おきて」をいったりしました。歌はUNBRANFORDの2人の「HORIZON」や大会ソングの「能登のチカラ未来へ」を歌ってくれました。うれしかったです。また、他の隊の人と交流したときには、宗教派を超えた集いのときに英語で「ちかい」をステージで言った人とチーフを交換したり、カブのときの隊長の孫とワッペンを交換したりできました。できてよかったと思いました。大集会は皇太子様や、野口聡一さんや吉田山田

というグループがきたりしました。皇太子様は来年新天皇になられますし、皇太子様にいやさかができてよかったと思いました。いやさかのおかげで、天皇になったときにかんばれるきっかけになればいいなと思いました。野口さんは、元ボーイスカウトで2度も宇宙にいったそうです。宇宙ってすごいなと思いました。3度目の宇宙への挑戦もがんばってほしいと思います。吉田山田の方たちは自分たちの歌を一生懸命歌ってくれました。感動しました。閉会式はご当地アイドルが来たり、閉会宣言がありました。県連の旗にはベンチャーの先輩がでてたので、そんな仕事をやってみたいなと思いました。初めてのジャンボリーは知らないことばかりだったけど楽しいことばかりで、行けてよかったと思いました。次の東京のジャンボリーも行きたいなと思いました。ジャンボリー最高!!

目標：せっかくジャンボリーにいったんだから、いつも集会でもつちかった技能をいかして参加したいなと思いました。

タイトル：17NSJの思い出

ハヤブサ班 北九州第5団 BS 坂田 和史

ジャンボリー会場に着いた時に本当に自分は、うまくやっていけるか不安だった。しかし、ジャンボリーは大成功に終わり、とても楽しかった。初日は入場・設営があった。テント作りでは、指示されると、みんなが動き、とても効率が悪かった。二日目は開会式があった。開会式では、一万人以上のスカウトが集まり、とても印象に残った。四日目は、大集会があった。大集会では宇宙飛行士の野口聡一さんから、話をもらった。その後に皇太子様から、お話をいただいた。お話をいただいたあとは、みんなで、皇太子様に「いやさか」を送った。その後はさまざまな激を見て楽しんだ。そして最後に、吉田・山田が来てくれた。吉田・山田の歌は、とても良い歌詞で感動した。この日は、絶対に忘れられない一日になった。六日目は、閉会式があった。次に、あるジャンボリーは東京だった。また移動が大変になるかもしれないが、都市型のジャンボリーになるかもしれないと言っていたのでぜひ、ベンチャー隊になって行ってみたいと思った。最後らへんには、アイドルが来て「能登の力未来へ」をいっしょに歌った。この歌をうたって改めて、この歌の良さを知った。そして、一番最後には、花火が上がった。花火は様々な色があったり、様々な大きさの物が上がり、とてもきれいだった。そして、昨日は、会場から出発した。出発する前に、マカオから来た、リコとエルビスとの別れがあった。別れるのはとてもつらかった。そしてこのハヤブサ班、そして最高の福岡第一隊のままで別れたくないけど、このジャンボリーまでの思い出を忘れないように別れたい。

タイトル：ジャンボリー感想

ハヤブサ班 北九州第54団BS 松永 庵

ぼくは、6泊7日のジャンボリーで友情や感謝などを学べたと思います。わけは友情は丸立登りゲームで丸立を立てて登るので最初は負けていたけどみんなの力をあわせて立てて登るので逆転できたので友情が高まったと思います。

感謝では、使ったテントサイトやゆうしゅうスカウト、優秀班にいやさかをして友情がたかまり心から感謝ができるようになったと思います。

大集会では途中で気分が悪くなって帰ったけど、帰ってユーチューブで見ました。なか川姉妹のバブリーダンスは、すごくキレッキレで本当の平野ノラみたいでした。宇宙飛行士の野口聡一さんの話は心に残り最後の来年宇宙に行くというのがしょうげきでした。

こうたいしの話はムズかしかってよくわからなかったです。でも有名人に会えてよかったです。開会式できたグループの一曲めの歌「コライジュン」がすごくいい歌と思いました。とくに「あと、もう一歩もう一歩」のところがよかったです。

友情交かんではチーフとチーフを交換したりワッペンを交換したりしました。

ショッピングでは最初すいていてチーフリングを買いました。あとから買おうとしたらすごくならんでいて買えませんでした。(ざんねんだった)

活動の記録では上のあいている所らしくがきをした副長たちに「もっと書いて」と言われうれしくなりました。でも班長はいやがっていました。

ジャンボリーアワードはいろいろな条件にちょうせんして、クリアしたらしょうがもらえるアワードです。その中のいちばんおもしろかったのが最初にも書いた丸立登りです。

毎日、炎天下の中、活動していたのではだがやけて、くろくなってしまいました。

閉会式ではアイドルがきました。花火がすごくきれいでした。

夏休み一番の思い出になったと自分では思います。

目標：みんなと協力

タイトル：17NSJ

ハヤブサ班 北九州第54団BS 後藤 芽衣

私は17NSJに参加しました。三日くらいなら親元をはなれキャンプできるけれど、一週間以上も親元をはなれキャンプすることは初めてでとてもきんちょうしましたが、班長や副長が大丈夫と安心させてくれたので安心して活動することができました。

一番楽しかったのは隊こうかんです、大分のスカウト、大阪のスカウトといっしょに隊こうかんしました。方言が違ったり、食べている物が違っておもしろかったです。また、他の県の人と隊こうかんしてみたいです。

日本一を目指せではわたしは1つしか参加できなかったけれど、仲間と協力してがんばれたと思います。すいじや環境衛生、当番班の時も仲間と協力できたと思います、

17NSJでは、協力、挑戦、がまん、水の大切さ、感謝の心を忘れずに悔いもなくできたと思います。一生忘れない、いい思い出になりました。これからも17NSJのテーマ『能とのチカラ未来へ』を実行してボーイスカウトをがんばっていきたいと思います。4年後の東京である日本スカウトジャンボリーに参加したいです。

目標：ジャンボリーで学んだ力を未来につなげていく

タイトル：17回日本スカウトジャンボリーで学んだこと

ハヤブサ班 北九州第14団 BS 池田 琥太郎

1日目はテントなどをたてたり、荷物をはこんだりしました。初めてジャンボリーで料理を作りました。

2日目は夜に開会式がありました。最後にはみんなで歌をうたいました。

3日目はジュピターで木登りなどをして、班が1位になれたのでうれしかったです。マーキュリーでは海水浴はできませんでしたがビーチフラッグなどができました。

4日目は友情ゲームをしました。1万3000人全員が歩くのでグループをみうしなわないようにしました。夜は大集会で全国の何人かのえらばれた人たちが芸をひろうしてくれました。そのあとは、宇宙飛行士の野口さんが話をしてくれました。

5日目は午前パターゴルフをしました。そして午後は暑すぎて活動休止になりました。みんなで水かけやアイスを食べたりしました。

6日目はてつえいをしました。Aテンやドームをすこしたたみました。そしてついに閉会式となりました。最後はなんとアイドル部が出たり花火が上がったりしました。その日の夜は青空テントで星がとてもきれいでした。

7日目はすべてのテントをたたみ退場式をしてバスにのりました。帰るとちゅうSAやPAにとまりおみやげをかったりしました。

8日目、朝5:00小倉駅につき、かいさん式をして家に帰りました。ジャンボリーでいろいろなことを学びとても楽しかったです。

タイトル：6日間の思い出

ハヤブサ班 北九州第55団 BS 山崎 優太

1週間の日本スカウトジャンボリーもあっという間に終わり、とても楽しかったです。

1日目は元気がなく、2日目は開会式なのに脱水症状で行けなくて残念な気分でした。

3日目は少し元気が戻ってきて、やる気が出ました。

4日目はジャンボリー大集会があり、皇太子様と野口さんが出てビックリしました。

5日目はものすごい暑さで活動中止となり、自由時間の時は「フリーハグ」「ハイタッチ」を求めて他のスカウトと仲良くなりました。そしていろいろな物と交換をしました。

6日目は閉会式での最後のプログラムは花火でしたが、すごくきれいでした。

この1週間は自分で忘れられない思い出になりました。行けてよかったです。

目標：最後まであきらめない！

タイトル：交流

ハヤブサ班 北九州第55団 BS 松村 泰希

僕が17NSJで感じた事は、言葉が通じなくても伝えたいことは伝わるという事です。例えば、友情ゲームの時に会ったインドネシアの人とは、相手は英語しか話せないのに、僕のたどたどしい英語と身振り手振りだけで話したいことが伝わりました。ネッカチーフを交換しないかということをお話していました。

ジャンボリースカウトセンターではパフォーマンスのために集まっていた外国人と、記念品を交換しないか声をかけていました。1回目に声をかけた相手は英語すらも話せなかったのですが、手の動きと表情だけで少しは会話できました。ちなみに交換はできませんでした。残念！2回目に声をかけた人は香港の人で、「チェンジ、オーケー？」の一言だけで伝わり交換できました。3度目の正直ならぬ2度目の正直です。

そしてマカオからきたリコとエルビス。リコと話す機会が何度かあったので、少し習っただけの英語で話しかけたら答えが返ってきました。交流できたと思います。マカオでは普段日常で使う言語とは別に、学校では英語を使用するそうです。

意思疎通ができただけでも楽しかったですが、言葉が分かるともっと楽しいとリーダーに言われ、次のジャンボリーまでに英語をある程度話せるようになりたいと思いました。

外国人と交流する時に役立つといいなと思います。

17NSJでは外国人ではなく日本人と交流する時間もありました。記念品交換ではワッペンやサイン等のやり取りを、隊交歓ではゲームを通してやり取りをしました。とても楽しかったです。

前にいた団の仲間とも会いました。印象が変わっていたり、かなり進級していたり、早く追いつきたいなと思いました。

目標：外国語で外国人と会話できるようになる。

## <パンダ班>

タイトル：17NSJ

パンダ班 班長 北九州第5団 BS 樋口 康生

今回は、一日一日にみんなが成長していくのにおどろく日々でした。リコとエルビスへのコミュニケーションも増えていき感動しました。リコとエルビスと活動できる大変幸せな体験ができました。またまた楽しみたいです。またジャンボリーにいきたいと思いました。もっと友達を増やしたいです。

今回のジャンボリーの反省は時間が守れなかった所と自分の自己管理がしっかりできていなかった所です。今回のキャンプで色々なところがみえてきました。改善できた所もたくさんありました。なので今後の活動や、日頃の生活に意識していきます。

僕自身の一番の成長は、リコとエルビスとのコミュニケーションだと思います。エルビスは日本語が少ししゃべれるけど、リコは話せませんでした。しかし、英語やジェスチャーでコミュニケーションをとれるようになり、どんどん仲良くなり、班旗立ても協力してたて、みごと安定した班旗立てができあがりました。僕は、リコとエルビスに会うためにも、18thNSJに参加してぜったいに2人に会います。 目標：今回の楽しさをみんなに知らせる。

タイトル：初のジャンボリー

パンダ班 次長 北九州第51団 BS 小林 綾音

今回、初めてのジャンボリーで私は色々なことを学ぶことができました。まずは、指示出しの大切さです。次長としてやってきたけど、人にくわしく、正確に伝えるのは難しくて、一週間の間で何度も指示出しについて悩みました。でも最後までなんとかやっていけたのでよかったです。とちゅう、班長がたおれてしまって、パンダ班があまりまとまらなかったけど、ツチノコ班の班長が助けてくれて、本当たすかりました。

最後はくやしかったです。火起こし日本一をとるために練習もしてたのに、目の前で中止になったので、本当にくやしかったです。

こんな次長だったけど、最後までついてきてくれたパンダ班のみんなにかんしゃしています。次回、またみんなに会えるように、この経験をいかして成長して会いたいです。

目標：みんなのお手本となるようなスカウトを目指す！

タイトル：17NSJ 日本スカウトジャンボリー！

パンダ班 北九州第55団 BS 山崎 健太

初めてのジャンボリーや初めての6泊7日の長期間のキャンプなどでいろいろ初めてのことだらけで不安でいっぱいでした。でもみんなは不安どころかとても楽しみにしているから自然と「楽しみ〜！」と思うようになりました！そう思いながら、バスに乗ってジャンボリーに行きました。そして1日たって、ジャンボリー会場について、周りを見わたすといろいろな県のスカウトがいて「すごっ！」と思っていました。緊張もしていました。しばらく歩いてこれから使うキャンプサイトを見ると地面は砂でこぼこでした「あきらかにテント張る場所じゃ〜ね〜」と思いながらテントを立てました！副長や班長、次長の教えのもと、がんばってテントを立てるとすぐにできました。

17NSJ日本スカウトジャンボリーで一番楽しかったことは、大集会です！理由は、ふだん静かないきなり「イエーイ！」などを言って面白いし、いろいろな県の文化が分かったからです！二番目は閉会式です。やはり最後の花火がよかったです！それに、アイドルグループも全員かわいくて、おもいきり応援しました！

目標：1級をとる！

タイトル：日本スカウトジャンボリー

パンダ班 北九州第55団 BS 嵩 涼太

1日目、最初は、石川県ってどんな所なんだろうと思いながらワクワクしていました。石川県について時、ジャンボリーが始まったと思いました。やる気が出てました。一日目は頑張りました。

2日目、開会式5：30～9：00までもりあがりました。楽しかったです。

3日目、プログラムにいきました。楽しかったです。もどってご飯作りに協力しました。楽しかったです。

4日目、日蓮宗に行きました。しっかり万できたので良かったです。その後ちょっとだけゲームをして、こうかんをして、友情ゲームをしました。3人目からいろいろあつまってようやく7人目が集まりました。全員見つけるのに1時間ぐらいかかりました。他のスカウトと友達になれたのでとてもうれしかったです。いちばんびっくりしたのは、同い年、年上が多かったのも、班長・ベンチャーがあつまっていたことです。その後、1隊にもどって班長の言うとおりに動きました、明日ももっと友達を作ろうと思いました。

5日目、朝5時に起きて当番班の仕事をしました。朝早くとても眠かったです、でも頑張らないといけないと思いました。その後、昼ご飯を食べて、パンダ班男子と副長だけで、NewMO!をやりました。楽しくやれたので良かったです。ハグもしました。楽しい一日でした。

6日目、班旗立てをしました。リコの活躍で上手く立てました。リコはすごいなと思いました。その後、火起こしをする予定でしたが、熱中症の危険で、できなくなったので残念です。この1週間楽しかったです。班長や次長にめいわくかけてばかりだったので、4年後TOKYOのジャンボリーで前回のことを思い出しながら頑張ります。この日は記念ネッカチーフにサインを書いてもらってうれしかったです。ハグもしました。この一週間思い出残ったジャンボリーでした。4年後のジャンボリーは頑張っていきます。

目標：ベンチャーあがるまでに菊を目指す。

パンダ班 北九州第54団 BS 三宅 優亜

私は17NSJに行きました。最初会場についてときはすごく緊張していてちゃんといけるかなと思ってたけど最後までやりきれたのでよかったです。ジャンボリーが終わってもパンダ班の一員です。これからもがんばります。

タイトル：17NSJ

パンダ班 北九州第54団 BS 原田 歩

初日、楽しみにしていたジャンボリー生活がはじまりました。リコとエルビスの2人のゆうかなスカウトがきてくれました。

2日目、開会式がありました。開会式で「のとの力未来へ」をうたったり、リコがマカオ国旗を持って入場しました。

3日目、パンダ班にリコが加入しました。とても嬉しく思いました。プログラムでは、丸太切りとサンドアートをしました。2つのプログラムで活躍したのはリコとエルビスです。

4日目、大集会では地域それぞれの特徴のあるお祭り、おどりがありました。吉田・山田の二人がきてくれました。

5日目、リコとエルビスのおどりをみたあとスーモという新しい遊びをしました。宗教エリアではまが玉づくりなどをしました。

6日目、閉会式では、アイドルグループがきてくれました。花火がきれいでした。なんと18NSJがTOKYOであるということがわかり、ますますいきたくなりました。

最終日、リコとエルビスのおわかれ式をしました。かなしくなっていました。リコとエルビスとやくそくした「18NSJ TOKYO 4年後、必ずあおう」とやくそくしました。4

年後ベンチャーとしていく18NSJはいまよりもっと進化した自分でいきたい。

目標：ジャンボリーでまなんできたことをいかして頑張りたい。

18NSJには必ず行くと決めた。

タイトル：笑顔で終了17NSJ

パンダ班 北九州第14団 BS 八木橋 瞭

8月4日 入場した時は不安でしたが、少しずつ雰囲気慣れてきました。サイトは木が生えていて、陰が多いサイトでした。テントが少し建て難かったです。夕飯を食べるとあっという間に夜になりました。

8月9日 プログラムが始まりました。どんなことをするのか少し不安でした。プログラムをこなすのに結構歩きました。夜、足がパンパンになっていました。

8月7日 昼から友情ゲームに参加しました。「そ」「な」「え」「よ」「つ」「ね」「に」のそれぞれのカードを持つ人を探してそろえるゲームでした。僕のカードは「に」でした。「ね」以外のカードの人は早く見つかりましたが「ね」のカードの人がなかなか見つからず、やっと見つけた時は40分かかっていました。

8月8日 とても暑い中、たくさん歩きました。グランドゴルフを待っている間にトイレに行きたくなくなってしまい、トイレに行った間にゲームが終わってしまいました。残念でした。

8月9日 午前中、ジャンボリー日本一ロープ結び(班旗立て)に参加しました。僕たちの班旗は上手く立てることが出来ました。同じスタートで立てたゴジラ岩班の方が高く上がっていたので残念でした。でも、帰ってお母さんが教えてくれたのですが、BS8人班で参加103班中、成功したのが19班、僕たちパンダ班は何と7位でした。とても嬉しかったです。

この夜は閉会式がありました。ご当地アイドルが出てきた時は、すごく盛り上がりました。最後に花火が上がりました。とても大きくてきれいでした。ラストの特大花火は、落ちてくるかと思うぐらいすごくきれいでした。

8泊9日の長いキャンプで不安もありましたが、後半は楽しく笑顔で過ごせました。4年後の18NSJも行きたいです。

## <ベンチャー班>

タイトル：ジャンボリーを終えて

議長 北九州第51団 VS 小林 翔真

8月3日～11日まで、石川県で行われた17NSJ（第17回日本スカウトジャンボリー）に参加させて頂いて本当に良かったと思いました。終えた今、あの福岡第1隊だから出来て、あのメンバーだから1週間終わったと思いました。

福岡第1隊の議長として参加出来てとても楽しくてよい経験になったと思いました。議長だったから色々任されることもあり、その達成感も得ることが出来ました。まず、大分県のランチ会、次に島根と、大阪との隊交歓をした時の段取りや司会などを任せていただきとても楽しく出来て大切なことも学び自分に生かす機会に出来てとてもよかったです。

あの暑い中、皆で協力してテントを立てたり、荷物を運んだり、ご飯を作ることによって色々学び、仲間の大切さや、班行動の大切さなどいろいろなことを学べたと思います。これは僕自身感じました。7日間という長い期間僕は初めてだったけど、上手く皆をまとめたかなとか、あんな感じで良かったのかなって思います。

終えた今だからこそ仲間の大切さや自分の家、今の科学力の大切さを学ぶことが出来るよいきっかけとなりました。だから、このキャンプに関わって下さった人達に感謝したいし、行かせてもらったお母さんにも感謝をして、次回の東京にも参加出来たらよいと思います。

タイトル：こんなの初めて

炊事担当チーフ 北九州第55団 VS 大砂 七菜子

私は、8月3日に小倉駅からたぶん15時間くらいずーっとバスに乗って石川県能登まで行きました。まず、始めに、こんなに長くバスに乗ったのは、初めてです。

そして、次に、約1週間も家の外でねたり、歯をみがいたり、お風呂にはいたり、トイレをするのは初めてでした。

慣れない暑さに体が追いつかなかったり、ボーイ（スカウトたち全員）の様子、体調、スケジュールなどを気にしながらする長期キャンプは、私にとって、とてもタメになるキャンプでした。

この、約1週間のキャンプ生活、つらい、家に帰りたなど1度も思いませんでした。それだけ毎日充実した日々で、学ぶ内容も毎日とても濃ゆく、楽しすぎる日々でした、

私だけが楽しくなるのではなく、スカウト達が毎日楽しく、元気に全体が見られるようになる。これから、生きてゆくうえで、使えるような事が学べるキャンプになっていたらいいなと思いました。

4年後、東京で、18NSJがあります。私はその頃専攻科1年生で、絶対に、18NSJに行きたいと思います。次に行く時は、私はローバースカウトで、指導者としての参加です。今のままの自分では絶対に隊がおかしくなってしまう。そのために周りを見る力、判断力、決断力、体力、知力を養いたいと思います。

そして、頼りになる人として色々な人に相談されたりしてみたいです。

次に行く18NSJの時も、今回の17NSJの時みたいに、大いに楽しみたいです。こんなにキャンプが楽しかったのは人生で初めてです。とても良い思い出です。

目標：全体が見られるようになる。

タイトル：17NSJ

環境衛生担当チーフ 北九州第55団VS 篠原 穂乃果

17NSJは初めてVSとしてちゃんと活動したキャンプでした。BSの時とは違い自分の班の班員だけでなくBSやVSのこと全員も気にかけるなど班員のことを気にかけるにも精一杯だった私にはけっこう難しい(?)ことでした。

私は炊事のチーフで担当班でもないのに毎日早く起きなければならないとか何故炊事チーフになってしまったのかという後悔が最初に表れていましたが、17NSJが終わった今は炊事のチーフになって良かったと思います。直接的には食事に手をくわえているわけではないのですが、自分がやる気を出せばその日の班の子達もやる気を出してくれて炊事になって良かったとおもえたのはBSの子達のおかげです。

やっぱり自分は一人では何もできないなと感じました。BSの子達がいたからVSのメンバーと一緒にいたから指導者達に支えられていたから17NSJをがんばれたんだと思います。

私はこのメンバーでこの福岡1隊で17NSJの6泊7日を過ごせて良かったと思います。本当に皆、ありがとうございました。

今後の目標はえび結びを上手に出来るようにして苦手なロープワークなど色々な技術面でもBSの子達にしっかりと教えられるようになる事と胸をはって人の役に立てるスカウトになる事です。もうここまでやってきたなら取れるところまで章を取ってその章に合ったスカウトになってやろうとも思います。そのためには練習と実戦が必要だと思うので嫌なことでも(面倒くさいこと)挑戦してみようと思います。やってみてダメなら今まですぐあきらめていたことでもすぐあきらめず、その改善法(?)解決法(?)を考えてやってもダメだったことを出来るようになってやろうと思います。

今まで出来ていなかったことを出来るようにして自分に自信もつけたいです。17NSJでは皆それぞれ学べたことがあると思えます。その学べたことをそのままにせず活動で生かせたいと思います。

目標：隼を取る

タイトル：17NSJ

当番班担当チーフ 北九州第3団 VS 堂免 真衣

わたしは今回の17NSJで初めて8泊9日という長期キャンプに参加しました。初めは不安ばかりでした。1隊の人と初めて会ったときは、知らない人ばかりで、キャンプを楽しめるかとても不安で17NSJに行きたくないなとも思っていました。

1回目の訓練キャンプで、言っても動けない子など本当に大変だと思いました。ベンチャーとして仕事もあまり分かっていなくて、班長に口を出しすぎたり、指示しすぎてしまうところがたくさんありました。2回目の訓練キャンプはいけなかったけど、3回目の訓練キャンプで、1回目よりもみんなが動けるようになっていたり、班長の手助けをしようという姿を見て本当に嬉しかったです!! でも、班長や次長の〇たんが大きすぎて、なやみすぎていたのに気づけなかったのはくやしかったです。もっとまわりを見ようと思いました。訓練キャンプやグリーンバー会議を重ね、班員などと仲良くなることができ嬉しかったです。少しずつベンチャーの役割や立ち位置など分かった気がしました。

そして、17NSJ本番。

訓練キャンプはしていても、緊張が変わり、うまくいかないこともたくさんありました。温度差もすごく体調管理が難しく具合が悪くなるスカウトもたくさんいました。しかし、そのスカウトたちの対処の仕方など知ることができました。プログラムなどへの参加はあまりなかったけど、隊の運営の仕方や、活動の裏側などが体験できた気がします。班長たちが、体調不良になったと

き、班員が「自分たちで動こう」・「次長を助けよう」という姿が見れました。最初は、動かなかった子たちもどんどん成長していくところが見れて感動しました。17NSJは、色々なこともあったけど、本当に貴重な体験ばかりでした。

ジャンボリーでは、おちてやちかいと結びつくことがあったので、自分自身も成長できたんじゃないかなあと思いました。自団でもジャンボリーでの活動をいかして、もっと上を目指そうと思います。

17NSJに参加できたことや、たくさんの経験に感謝をしたいと思います。とてもすてきな思い出になりました。

目標：まわりをもっと見る。 すってきな、ベンチャースカウトになる!!

タイトル：17NSJに行って

ジャンボリー通信員 福岡第1隊担当 北九州第3団 VS 立野 晃太郎

僕は今回初めてNSJに参加しました。行く前は不安が多かったけど、実際に行ってみると、とても楽しかったです。僕はこの17NSJを通して、3つのことを学びました。

1つ目は、リーダーシップをとる難しさです。僕は今回、ベンチャースカウトとしての参加でした。その中で、ボーイ隊のスカウトに指示をする場面が多々ありました。そこでの指示を出す難しさなどを学びました。今後は原隊に戻ったりした時や、地区の行事などでもリーダーシップを発揮し、みんなをまとめていきたいです。

2つ目は、友情はとても大切ということです。ジャンボリーに行くとは他県のスカウトや、外国のスカウトの参加者がいました。その中で、隊交歓や、自由時間での交流を深めていくうちにたくさんの友人ができました。僕は友人がいるからこそ、このジャンボリーを楽しむことができたと思います。今後は他県のスカウト達や、福岡1隊のスカウト達との交流を続けて、18NSJや、地区の行事などで、再会した時に少しでもレベルの高いスカウトになれるように努力したいと思います。

3つ目は、そなえよつねにの大切さです。実際にジャンボリーに行ってみると、予想外のことがたくさんおこりました。例えば、連日の暑さです。北九州とはちがい、昼の夜との温度差が大きく体温調節が大変でした。キャンプでは、何がおこるか分からないので、つねに予想外のことを考えておくことが大切だとあらためて実感することができました。今後は、いかなる時も、予想外のことを考え行動し、スカウト活動だけでなく、日常生活でもそなえよつねという言葉大切にしていきたいと思います。

ジャンボリーで学んだ、この3つのことを今後のスカウト活動でいかして、ボーイスカウト技能の向上を目指し、頑張っていきたいと思います。

タイトル：17NSJ

上級班長 北九州第54団 VS 松尾 創一朗

ジャンボリー出発当初は不安も多く、上班という大事な責務を一週間続けられるかどうか、心配でしたが、多方面からの大きなサポートでやりきることができました。特にしっかり怒って下さった岡本隊長を始め指導者の方、いろいろな部分が抜けていた自分を諦めず怒って下さったこと本当に感謝しています。技術面もそうですが、人をまとめるというとても難しくまた、やりがいのある力を磨けたのは、スカウトとしてだけでなく今後の人生でも役立つ経験だったと思います。

大集会では新たな友達ができ、普段交流しない県の人とも交流ができました。様々な司会進行を見ることができ、充実し、またスカウト達も積極的に参加してくれ、大変、動きやすかったです。事前訓練を重ねるにつれチームワークも良くなり、積み上げた力を十分に発揮した一週間になったと思います。

今後の目標：松尾章などを活用し、効率良く、スカウトをまとめ、やる気を出させ周りの状況をよく見て、動ける人間になる！ そなえよつねに!!